

焼き板クラフト

1 活動の概要

1枚の木板をガスバーナーで焼いて、たわしをつかって木目をきれいに出し、焼き板を生かすような絵を描いたり文字を入れたりして、オリジナルの壁掛けや表札などを作ります。

2 ねらいとして考えられるもの

創作活動をとおして、豊かな創造性や感性を育む。

3 活動時期

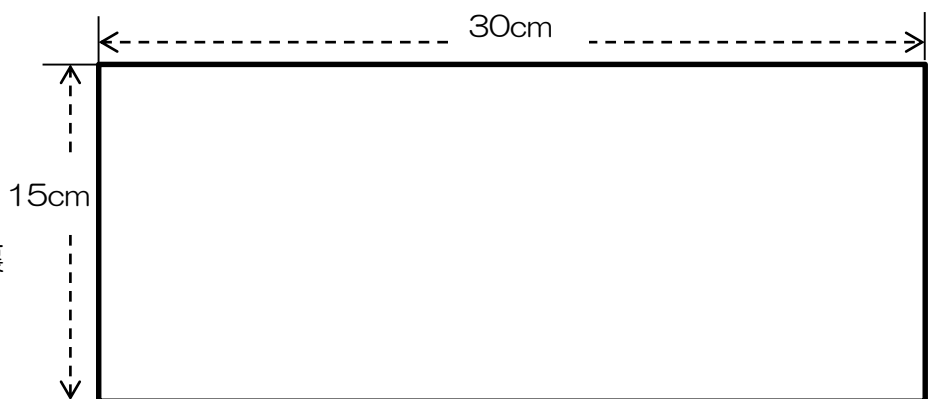
通年

4 活動場所

創作工作室、創作工作室裏

5 活動人数

少人数～40人程度



6 所要時間

2時間程度

7 指導依頼について

- (1) 基本的には、引率（担当）者の方に直接指導していただきます。事前打合せに来所した際に指導手順について、ネイパル職員が引率（担当）者の方に指導します。
- (2) どうしても団体で指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼に答えられない場合があります。
- (3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

8 団体が準備するもの

(1) 参加者

軍手 デザインの下絵

(2) 引率者（指導者）

クラフト用木板（ネイパルで購入も可 トドマツ材木板 1枚 120円）

木の実や小枝などの装飾材料（必要に応じて）

9 ネイパルで貸し出しできるもの

- ハンドガスバーナー □たわし □布きれ □電動ドリル □新聞紙
 □ポスターカラー □ホットボンド（木工用ボンド）
 □掃除用具（机拭き・床拭き用ふきん、ほうき、ちりとり）

10 活動にかかわって

(1) 実施上の注意点

- ①ガスバーナーと電動ドリルの使い方には十分に注意を払ってください。
 ②活動場所が分かれるので、各作業場所に引率（担当）者が配置しているようお願いいたします。
 ③1つのテーブルには、4～5名で活動しますので、事前にグループ分けをお願いいたします。

(2) 展開例（1グループ4～5人程度）

活動手順	内 容	時間例
用具の準備	①板の準備・配布（工作室裏出入口前の棚にあります。） ②工作室前のテーブルに使用する道具を一式用意する。 （完成見本品、たわし・布きれ・組立前のガスバーナー、ポスターカラーなど）	5分
説 明	①ハンドガスバーナーの組み立て方と使い方について ・バーナーの金属部分に触れないこと。 ・赤いボタンを押すことで火が付くこと。 ・ガスの調整の仕方について。 ・バーナー使用者の前に立たない、周りでふざけないこと。 ②風が強い時やガスの出量が多い時の注意点について。 ③バーナーを人には絶対に向けないこと。 ④焦げをたわしで落とすときは、木目にそって落とすこと。	15分
創作手順	①板、軍手を持って創作工作室裏に移動する。（焼き作業に必要な道具は、工作室裏口付近にあります。） ②ハンドガスバーナーで部品を焼く。 ・ハンドガスバーナーを組み立てる。 ・ガスを調節するつまみを時計回りに動かし、ガスを出していく。（出しすぎると、火の勢いが強くなり、火傷をする恐れがあるので注意します。） ・赤いボタンを押して、火をつける。 ・必ず軍手をして、周囲の人とある程度の間隔を取りながら、板を真っ黒になるまで焼く。 ※風が強い時やガスの噴出が多いときは、火が消えることがあるので注意します。 ・焼き終わったら、ガス調整のつまみを反時計回りに回し、火とガスを止める。（金属部分はとても熱くなっているので触れないようにしましょう。）	1時間

	<p>③板の表面を木目に沿ってたわしでこすり、焦げを落としていく。</p> <p>④布きれで磨き、焼いた部品につやが出るように磨く。 （さわっても黒くならなくなるまできれいにします。）</p> <p>⑤磨き終わったら、使用した道具をそれぞれのかごに戻し、工作室内に戻る。</p> <p>⑥ポスターカラーを使用し、個人のデザインを描く。 ※ポスターカラーを使用する際は、必ず新聞紙を下に敷いて下さい</p> <p>⑦壁掛けにする人は、電動ドリルで紐を通す穴をあける。 ※電動ドリルは引率（担当）者が行うようにします。</p> <p>⑧完成</p>	
後片付け	<p>①工作室裏は水をまき、焦げがついている部分をブラシでこする。</p> <p>②工作室内は、落ちた木くずやテーブル上の木くずごみを掃く。</p> <p>③机拭き用の雑巾を使用し、テーブルの上を拭く。</p> <p>④床が汚れている場合は、床拭きも行う。</p> <p>⑤椅子をテーブルの上に戻す。</p> <p>⑥引率（担当）者による点検 終了</p>	20分